勇敢に戰ふべきか!!
それともカン物になるか?

俺達は左の要求の貫徹しないうちはどこまでも戰はなければならない

軍備整理に依つて陸軍職工の、特別手當が發表されたが、官業勞働總同盟の要求の最低二ヶ年分の失業手當は七十五日分と決定された。が、然し一度勅令で發表した上は、再び、二ヶ年分の特別手當を發表する筈がないから、特別手當の要求としてはこの位で泣寢入にならう、けれども同じ七十五日にも日給と日收では額に於て相違があるから、當局に左の要求をする。

一、軍備整理に依る特別手當は日給にあらずして日收のこと

二、特別手當は失業手當なるが故に勤續手當には何等關係なく同時に支給すること

三、大正三年度の馘首者を再び當局が呼出せる者に對しては就職當時に遡つて特別手當を支給すること

以上は馘首者に對する要求であるが、殘留者に對して左の二ヶ條を要求する。

一、官業勞働總同盟大會に依つて決せられたる、最低賃銀金二圓五十錢の要求は理想とし、日給二圓以下に金四十錢二圓以上に金三十錢の日給增額を要求する

二、請負制度を撤廢し六分五厘の比率に依つて全從業員の日給を常備制と改正すること

馘首される人はどうしてもこれだけの手當が必要だし、殘留者もこれだけの增額をしてもらはないと、生きて行けない、この要求には掛け引がないのだ、俺達は死力を盡してこの要求の貫徹を期さなければならない、役附職工も、御用を勤めた犬共も、この運動には參加した方が得だらう。

十二月十日午後五時よりサワヤの裏へ!!

十二月十日午後四時半よりコンニヤク閻魔へ!!

一九二二、一二、九、

(大二年)

官業勞働總同盟 關東聯合會

(小石川表町誠文堂印行)

(大12年)

馘首の豫定日も旬日に近いた

断末魔の日、呪ひの日、最後の執行。

諸君! 諸君の起つべき日は遂に來た

愈々來月六日から、職業紹介所が東京砲兵工廠内に出張所を設置する事になつた、と、同時に馘首も執行される事になつた、四千五百の人達が失望のドン底に、悲哀を感ずる時は目前に迫つて來た、恐怖すべき失業よ!!!

愈々關東聯合會も捲土重來の大運動を開始する

來二月二十三日午後六時より

失業問題聯合幹部會

場所 傳通院前 イナリソバヤ樓上

二月二十五日午後一時ヨリ

失業問題大演說會

小石川、コンニヤクエンマ

王子、サハヤノウラ

二、二二

官業勞働總同盟 關東聯合會

(東京誠文堂印行)